

---

# 株式会社メガチップス

SiTime Corporationの株式取得(子会社化)に関して

<http://www.megachips.co.jp/>

---

2014年10月29日

**MegaChips**

# 経営戦略の基軸の転換

---

中長期の成長を  
国内大手顧客対象のASIC事業ではなく  
成長機器市場での有力なグローバル顧客  
対象のビジネスに求める。

モバイル機器、ウェアラブル機器を含む  
IoT (Internet of Things) 分野での事業展開を図る。

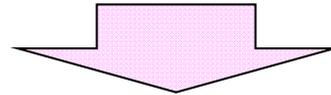
# これまでの取り組み

## <進捗>

- 2013年4月1日 川崎マイクロエレクトロニクス株式会社を吸収合併後  
アメリカ、中国、台湾、インドの海外拠点の体制整備を積極的に行い、  
人材充実、国際化経験の蓄積による海外ビジネスの基盤の確立
- 2014年2月 STMicroelectronicsからDisplayPort事業の買収  
映像機器インターフェイス分野への参入、有力グローバル顧客獲得
- 2014年4月 米国Vidatronic, Inc.への出資  
電源IC分野の技術獲得
- 2014年4月 台湾Modiotek Co., Ltd.の株式取得  
中国・台湾顧客への技術サポート、マーケティング、開発体制の強化
- 2014年10月  
センサーHub LSI「frizz」の開発完了  
SubGHz帯無線 LSI「BlueChip Wireless」の開発完了  
モバイル、ウェアラブルを含む IoT 分野向けの製品展開

# 今回の取り組み

**SiTime Corporationの株式取得(子会社化)により  
中長期の事業拡大と企業価値向上を加速させる。**



- 1) 新たな高成長・高収益事業の獲得**  
(IoT分野で競争力のあるタイミングデバイス事業)
- 2) 国際競争力の確立**  
(水晶→MEMS、独自技術でMEMS発振子の弱点克服)
- 3) グローバルリーダーとのビジネス獲得**

# SiTime社の概要

## SiTime Corporation



所在地： 米国カリフォルニア州

資本金： 144千米ドル

設立： 2003年12月

**事業内容： MEMS (Micro-Electro-Mechanical Systems)  
タイミングデバイスの開発及び販売**

売上高： 15百万米ドル(2013年度)

営業利益： △13百万米ドル(2013年度)

従業員数： 約90名

※株式取得について

- ・取得価額：2億米ドル(手元資金と銀行借入による調達)
- ・取得株式数：SiTime社の発行済株式数に対する割合：100%
- ・クロージング：2014年11月末日までにクロージング予定



# SiTime社の概要

## SiTime社のタイミングデバイス

製品 : MEMS発振子及びMEMS発振器

顧客 : 大手カメラメーカーのデジタルカメラ、電子書籍リーダー、ウェアラブル機器、通信ネットワークのインフラ装置

MEMS発振器市場の80%のシェア

製品特徴 :

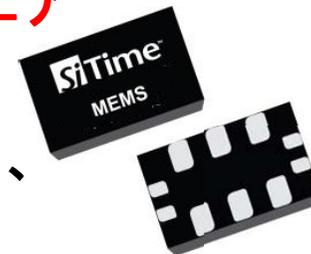
MEMS発振子と独自の電子回路の組合せにより、水晶発振子による既存品を凌駕する

精度、安定性、サイズ、消費電力、耐衝撃性、コストを実現。

既存の水晶発振子と比較し、

・サイズと消費電流が際立って小さい

・SiTime社の独自技術で、温度変化に対する発振周波数の安定性が同等以上



小さい  
サイズ

高い  
安定性

低  
消費電流

# タイミングデバイスの市場

## タイミングデバイス市場

- デジタルカメラ等民生機器、監視カメラ等産業機器、車載
- ネットワーク機器、ストレージ、業務用カメラ、サーバー
- ウェアラブル機器
- サーバー、40G Ethernet、産業用GPS、ケーブルTV局装置
- スマートフォン、GPS、WiFi、STB
- レーダー、小型基地局

SiTime™

量産中の製品

開発中および  
開発予定の製品



# 市場規模と製品性能

高い安定性、小型化、省消費電力、低コストを実現

「85% 小型」 & 「50% 低消費」

Spec	Quartz Resonator	SiTime's MEMS XO
サイズ	3 devices – large	1 chip – 85% smaller
消費電力	1.5 $\mu$ A	0.75 $\mu$ A – 50% lower power
安定度	20 PPM at Room Temp. 160 PPM over Industrial Temp.	20 PPM at Room Temp. 100 PPM over Industrial Temp.
周波数	32 kHz No flexibility	1 Hz – 32 kHz Lower frequency, lower power
経年変化	$\pm$ 5 PPM	$\pm$ 3 PPM – more accurate time
堅牢性	Brittle (脆弱) in small sizes	Very robust 50,000 g 衝撃, 70 g 振動
生産能力	大きな資本を必要とする自社工場	ファブレス、少額の設備投資 容易な生産量コントロール

## タイミングデバイス市場

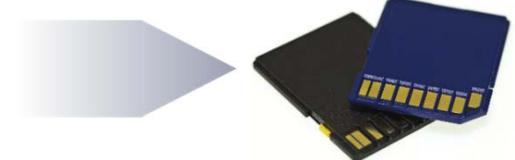
Resonator  
発振子  
2,000億円

Oscillator  
発振器  
2,000億円

## シリコンへの置換え



Quartz



SiTime™

MEMS

2018年度 売上高: 100億円以上 営業利益率: 20% 以上  
 2020年度 売上高: 200億円以上 営業利益率: 30% 以上を目指す。

# 新規事業の取り組みに対するリスクの軽減

中期での増益基調を維持する。

## 新規事業への取り組みに対するリスクの軽減

### (1) 開発の効率化

- ・開発工期の短縮
- ・開発テーマの絞込み

### (2) 開発段階からの総原価コントロール、原価低減

### (3) 適正な在庫レベルの管理

### (4) 人員の配置・規模の最適化と業務効率の向上



## シナジー効果による利益率の改善

### (1) 調達先コスト削減による粗利率改善

### (2) MCC信用力の裏付けとMCC顧客に対する拡販効果



# メガチップスの新たな事業展開

## IoT(Internet of Things)分野で 有力なグローバル顧客を獲得する



### 成長機器向け「プラットフォーム」の提供

- ★センサーHUB LSI
- ★ディスプレイ用LSI  
(Display Port、Timing Converter)
- ★通信用LSI (光通信、無線、電力線、複合通信)
- ★Super LDO



タイミングデバイス  
(MEMS)

# IRポリシー

## ≫ 基本姿勢

当社は、「公平性」「適時性」「正確性」「継続性」に配慮して、経営戦略や財務状態等の会社情報を発信し、経営の「透明性」を高めるとともに、株主・投資家・証券アナリストの皆さまからの当社に対する信頼と適切な評価を得るために、経営者自ら積極的なIR活動に取り組みます。

## ≫ 情報開示の基準

当社は、金融商品取引法、会社法等の諸法令(以下、「法令」)、また当社の株式が上場されている東京証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示に関する規則」(以下、「適時開示規則」)を遵守してディスクロージャーを行います。また、法令ならびに適時開示規則に規定される開示基準に該当しない場合でも、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられとされる情報や、当社への理解を深めていただく上で有用であると思われる情報は、積極的に開示します。

## ≫ 情報開示の方法

当社は、適時開示規則に定める開示基準に該当する情報、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられとされる情報は、適時開示規則に従い、東京証券取引所が運用する適時開示情報伝達システム Timely Disclosure network (TDnet) を通じて開示するとともに、速やかに当社のインターネット上に開設するホームページ(以下、「ホームページ」)に掲示します。  
また、これら以外の情報についても、当社を理解していただく上で有用であると思われる情報は、IR情報誌等の発行や、ニュースリリースの配信やホームページへの掲載を通じて情報発信します。

## ≫ 将来の見通しについて

当社が開示する情報の中で、業績予想や将来の予測等に関する記述は、その情報が開示される時点で経営者が入手した情報に基づき判断した予想であり、不確実性や潜在的なリスク(以下、「リスク」)が含まれる場合があります。しかし、結果としての業績等は、変化するさまざまな要因によって、予想とは異なることがありますことをご承知おきください。これらリスクは「事業等のリスク」として開示に努めますのでご参照ください。

## ≫ 投資の判断

当社の開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の判断において行なわれますようお願いいたします。

## ≫ 第三者が発行する当社情報への対応

証券アナリストや報道機関、インターネット上のさまざまな情報サイト等の当社以外の第三者が発信する、当社の情報・業績予想等各種情報については、当社はコメントやこれらを支持する立場にはありません。ただし、これらの内容に明らかな誤りが含まれており、当社への信頼と適切な評価が得られないと判断する場合には、その誤りを訂正し、正確な情報を伝えるための対応を行います。

## ≫ IR沈黙期間

当社は、株価に影響を与える決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、各四半期の、決算日含め5営業日前から決算発表日までを沈黙期間と定めます。この期間中は、決算に関連するお問い合わせへのコメントを控えさせていただきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。ただし、法令や適時開示規則に該当する情報については、沈黙期間中であってもディスクロージャーを行った後、お問い合わせに対応いたします。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社メガチップス  
管理統括部 経営管理部 広報課

[ir-team@megachips.co.jp](mailto:ir-team@megachips.co.jp)

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1-1 新大阪阪急ビル  
TEL: 06-6399-2884(代) FAX: 06-6399-2886